

コンブ干し作業について

皆さんこんにちは。

利尻町のコンブ干しアルバイトにご興味をお持ちいただきありがとうございます。

利尻島はリシリコンブが名産であり、養殖コンブが盛んに行われています。

利尻町のコンブ干しとはどのようなことをするのか説明いたします。

① コンブを干す

② 乾いたコンブを回収する

以上です。

とてもシンプルで、作業自体は難しくはありません。

ただし、コンブを干す作業は中腰の状態が長時間続き、且つ、晴れの日が続けば、連日行いますので、とても体力が必要なお仕事で、初めての方は腰を痛くすることもあります。

コンブを干して、乾いたら回収するとシンプルな作業ではありますが、干す作業と回収する作業の流れを説明いたします。

☆コンブ干し

① 早朝干場に集合（午前3時頃）。

② 漁家さんがトラックで運んできた養殖ロープ（約50メートル）からコンブを間切や包丁で切り取る

（注意！コンブは必ず根っこから切ること、絶対にコンブの身を切らない）。



コンブの根っこ

- ③ 切り取ったコンブを干場にひたすら干していきます。
コンブにも表と裏があり、コンブ中央にある筋が**凹んでいる方が表**であり、**表を上にして**干します。



- ④ コンブを干している間、漁家さんが追加のロープを持ってくるので、②と③を繰り返します（1日におよそ8本）。
- ⑤ コンブを全て干し終わったら、コンブが風で飛ばないように網を掛けます。掛ける場所については漁家さんの指示に従いましょう。掛け終わったらその日の干す作業は終了です（午前6時頃）。コンブが乾くまで時間がかかるので、それまで休憩時間になります（漁家さんによって他の作業がある場合があります）。

※作業時間の目安は朝 3 時から朝 6 時までの 3 時間ですが漁家さんによって異なる場合があります。

※1 日に干す養殖ロープの長さや本数は漁家さんによって異なる場合があります。

☆コンブ回収

- ① お昼干場に集合（午後 2 時頃）
- ② コンブに掛かっている網を外します（注意！コンブを踏まないように、踏んだら割れます）。
- ③ 同程度の長さのコンブを集め、専用の木箱に詰めます。
- ④ 木箱にある程度詰めたら、紐で縛ります。



- ⑤ 紐で縛ったコンブをトラックに積み込んで回収作業は終了です（午後 4 時頃）。

これが 1 日のコンブ干し・回収作業の流れになります。

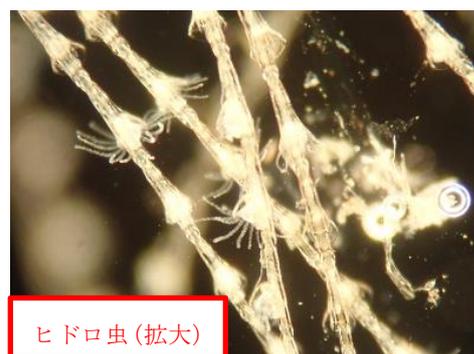
※作業時間の目安は昼 2 時から夕方 4 時までの 2 時間ですが漁家さんによって異なる場合

があります。

☆連日の作業について

コンブ干しは晴れの日が続く限り、ほぼ毎日行われます。そのため休日が少ないという意見は少なくないです。しかし、養殖コンブを早く干さなければならない理由がございます。

海水温が上がってくる時期になると、“ヒドロ虫”（漁家さんの間では“毛”と呼ばれる）という生物が現れ、養殖コンブにびっしり付着します。



ヒドロ虫が付いたコンブは等級が下がり、値段が安くなってしまい、付着が広がってしまったコンブは売り物にならず、廃棄しなければならない場合もあります。また、乾燥したヒドロ虫を吸い込んでしまうと咳が止まらなくなるなど、良いことはありません。

そのため、漁家さん達はヒドロ虫が現れる前にコンブを干し終わりたいと思っており、晴れの日が続けば連日の作業になります。

養殖コンブ漁家にとってコンブは大切な収入源です。連日の作業がとても厳しいとは思われますが、どうかご理解いただければ幸いです。

コンブ干しについての説明は以上になります。

ご応募をご希望の方は

「利尻町役場 産業課 水産港政係 コンブ干しアルバイト担当」宛に
ご自身の顔写真を貼付した履歴書を利尻町役場にご郵送願います（メールでの受付もして
おります）。

ご不明なことがございましたら、以下の連絡先にお問い合わせ願います。

〒097-0401

北海道利尻郡利尻町沓形字緑町 14 番地 1

利尻町役場産業課 水産港政係 担当 平野

TEL 0163-84-2345

FAX 0163-84-3553

E-mail rishirikonbu@town.rishiri.hokkaido.jp